

えがかれていることを思いうかべながら音読し、感じたことをまとめよう

かんがえるのって

おもしろい

谷川 俊太郎 作
たにかわ しゅんたろう

第一連

かんがえるのって おもしろい
どこかとおくへ いくみたい
しらないけしきが みえてきて
そらのあおさが ふかくなる
このおかのうえ このきょうしつは
みらいにおかって とんでいる

第二連

なかよくするって ふしぎだね
けんかするのめ いいみたい
しらないきもちが かくれてて
まえよりもっと すきになる
このおかのうえ このがっこうは
みんなのちからで そだってく

ステップ1（とらえよう）

1 詩「かんがえるのって おもしろい」をくり返して音読しましょう。



読んだ数だけ、
☆に色をぬろう



2 詩「かんがえるのって おもしろい」を音読して、気づいたことを書きましょう。

同じリズムがくりかえされているね。

全部ひらがなののは、
なぜだろう。

第一連と第二連をく
らべてみると・・・

文字について
連（まとまり）について

～に気がつきました。
～が分かりました。

ステップ2 (ふかめよう・まとめよう)

3 詩「かんがえるのって おもしろい」のどの部分が心にのこりましたか。心にのこった言葉や文に赤い線を引きましょう。

このプリントに赤い線を引きましょう。



4 なぜ、心にのこったのか、その理由を書きましょう。

ぼくも、何かを知ったりわかったりすると、新しい景色が広がるような気持ちになったことがあるからです。



わたしも、この詩のように、友達といっしょに考えることで、成長していきたいなと思ったからです。



なぜなら、

からです。

5 えがかれていることを思いうかべたり、自分の経験や考えと重ねたりしながら、もう一度音読しましょう。



ステップ3 (いかそう)

★ 谷川俊太郎さんの他の詩を読んだり、これまで学習した詩を読み返したりして、自分の経験と重ねて感じたことを書きましょう。
前学年の教科書を参考にできます。

題名

作者名

経験と重ねて感じたこと

〈例〉

わたしは、いろいろなところがあります。そのときとくらべて〜。

いしころ

谷川 俊太郎

いしころ いしころ
じめのうえの いしころ
いつからそこに いるんだい
いしころ いしころ
ひとにふまれた いしころ
ちよつとおこつて いるみたい
いしころ いしころ
あめにうたれて いしころ
いつもとちがう あおい
いしころ いしころ
おなかのしたは あったかい
おしのあちゃん うまれてる
いしころ いしころ
そらを見あげる いしころ
なまえをつけて あげようか

詩が見つからない場合は、この詩について書いてもOK